

令和5年度 府中市立府中第三小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係を考えながら、中心となる文章を見付けて読み取る力に個人差が大きい。 言葉のもつ意味への理解や読み書きに課題のある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小段落ごとの内容を短い文にまとめて理解させる。 接続詞や小段落の文頭に注目して読むことを繰り返し指導し、段落ごとのつながりをつかませる。 漢字の書き取り練習だけではなく音読や辞典を引く機会を増やす。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な計算力が必要な児童がいる。 友達の考えから学ぶ視点を育てる必要がある。 図や式や言葉で表す方法が思い浮かばなかったり、自分の考えを相手に分かりやすく伝えたりすることに苦手意識をもつ児童も見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で計算練習の時間を確保し積み重ねていく。 全体交流の場で似た考えを分類したり、よりよい考え方を価値付けたりしていく。 ペアやグループでの活動を増やす。習熟度別クラスに慣れて意見が言いやすいよう、必要によっては2単元に渡ってクラス編成をする。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な思考・判断・表現・自然を中心とした対象物の観察を通して、色や大きさなどを捉えることはできるが、異なる点や共通点に着目できない児童が多い。 科学的な事象についてそれに合う用語や言葉で表せない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫や植物の飼育・栽培を通して、実際の様子に触れることができるようにする。写真や映像なども並行して活用していく。 共通体験を通して、課題意識をもつことや、予想を立てることなどの経験を多くできるようにする。 単元を通して、事象を表す言葉を強調していく。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 体験や見学したことが知識と結び付かず、十分に理解できていない児童が多い。生活体験の不足から、理解に苦労している児童も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の体験や見学で学んだことを知識とつなげて考えさせる場を授業の中で意図的に設け、定着を図る。日常生活の中で生活体験を広げられるよう、保護者との連携を図る。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現の技能について、歌詞の内容を理解して曲のイメージを表現することができない。 リコーダーの運指、適切な息づかいが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ唱で互いに声を聞き比べて、表現や声の違いに気付けるようにさせる。 リコーダーは、教え合いの時間や個別指導の時間を増やす。 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 意欲関心をもって取り組んでいるが、扱う材料や道具に偏りがある場合があるので、幅広く学習をさせていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が関心興味をもてる題材や自由な発想や表現の楽しさを味わえるような題材を提示していく。 視覚的教材を用いる。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動経験の偏りが見られ、機械運動や水泳に苦手意識のある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童個人だけでなく、友達と協力してめあてに取り組み、運動が得意な児童も苦手な児童も運動の楽しさを経験したり、技能を習得する達成感を味わったりすることができるように指導していく。ICT 機器も効果的に活用する。 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。